



特定非営利活動法人

日本ボランティアコーディネーター協会

2024 年度事業報告

(2024 年 1 月 1 日～12 月 31 日)

2024（令和6）年元日に発生した石川県能登半島における地震は甚大な被害をもたらし、9月には追い打ちをかけるかのように記録的な豪雨が能登を襲った。暮らしを支えていたインフラや家屋が倒壊し、地震から1年以上を経過した今もなお復旧の手がつかない地域も多数ある。8月には宮崎県で震度6弱の揺れを観測した地震があり、これを受けて気象庁は「南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）」を発表した。日本列島全体で、いのちと暮らしを守るための「備え」と「レジリエンス」の強化が求められるなか、ボランティア・市民活動への期待も一層高まった。災害ボランティア活動を後押しする制度や官民協働のしくみづくりが進む一方で、ボランティアの資源化や活動の管理強化への危惧も指摘されている。JVCAでは、復興や支援の主体である市民の力を単なる人手としてではなく、ボランティアならではの強みはその活動を通して発揮できるようなコーディネーションの重要性を発信するとともに、コーディネーションの力を身につけた人材を増やしていくことに尽力した一年であった。

以下、事業計画で重点項目として掲げたポイントについての振り返りと、達成状況を記す。

重点1：ボランティアコーディネーションの普及のための事業拡大

まずは検定の入口である「3級検定」の受験者を拡大し、ボランティアおよびボランティアコーディネーションについての基本知識を身につけた人たちを増やすことに力を入れた。新型コロナウイルスの感染拡大をきっかけに、3級検定は2020年度から講義を動画で視聴する方法を研修の選択肢として導入。このオンデマンド視聴の形式は拘束時間や経費を節約できるメリットや学習方法の好みなどから、対面が可能になった現在でも受験者の半数程度がこちらの方法を希望している。そのため、東京・大阪では研修受講について会場かオンデマンド視聴かを選択する方式をとり、これに加え、試験のみを会場で受験する栃木・岐阜・滋賀・仙台・山口の開催を実現した。また、初の試みとして平日の夜間帯に試験のみを実施したところ一定の参加者を得ることが出来た。検定の普及と受験者の拡大策としては、全国的なパンフレットの配布とSNSなどでの告知に加え、PR動画「私たちがボランティアコーディネーション検定を推す理由」を制作し、その魅力を発信した。

3級検定（主催）の開催地および実施回数の拡大を図ることはできたが、年間受験者数は276人とどまり、目標に対する達成率は88.7%であった。また、共催検定による受験者数は114人、開催目標の6か所に対し4か所、新規の開催地はゼロという結果になり、あらたなパートナー団体を開拓することが次年度への課題となった。

重点 2 : ボランティアコーディネーション力を高めるための多様な学びの場の拡大

2024 年度は年間を通してコンスタントに研修を実施することをめざし、ボランティアコーディネーター基礎研修を 2 回、具体的なコーディネーション力を高める実務研修を 8 回開催することを目標にした。前者については 6 月にオンラインで、9 月には大阪において集合型により開催。後者については 6 月から 10 月までに月 1 回のペースで 5 回のオンライン研修を開催した。プログラムは研修開発委員会を中心に検討し、前年度開催のものをバージョンアップしたり、テーマに詳しい会員の協力を得て、企画運営にあたるチームを作り、プログラムを開発して、実施した。11 月以降は他の事業との兼ね合いで実施に至らず、目標回数に到達しなかったが、内容としては次年度につながる研修の形ができあがった。

また、2023 年から取り組んでいる 1、2 級検定合格者を対象にした「事例から深める！ボランティアコーディネーション研究会」を 2 回開催し、1 級合格者から提供された実践をもとに、事例検討を通じたボランティアコーディネーションのポイントを学ぶ機会を提供できた。

重点 3 : 多様な領域で活動するコーディネーターのネットワークの構築

オンラインが日常生活や仕事を進める上でのコミュニケーション手段として定着したことで、打ち合わせや会議、研修などの多くはオンラインで開かれるようになった。JVCA の研修および各種のミーティングもオンライン中心の開催形態への変化し、集合型では見られなかった広範な地域から参加を得ることが出来ている。テーマ型のサロンを開催できたのもオンラインの効用の一つとあってよい。一方、会場に集まることによる出会いや対話、飲食を伴う懇親の場などが減少したことにより、コミュニケーションの深度や雑談的な会話や体験の共有から生まれる刺激や満足感は弱まった。そのため、研究集会に会場開催の分科会を増やしたり、交流会を実施したり、研究集会の実行委員会や運営委員会においても同様にハイブリッドで実施する回を設け、徐々にではあるが「リアル」に会う場面を意識的に増やしてきた。ここ数年の試行錯誤を経て、つながりやネットワークを作るという目的のためには、対面方式が有効であることをあらためて認識した。今後も事業の目的・目標に合う開催形式を精査し、必要に応じて対面型のプログラムを強化する方向である。

基盤づくり

前年末から始まった第 5 期中期ビジョンについては、タスクチームが作成した素案をもとに、理事・運営委員との協議を経て、草案が完成した（通常総会議案として上程）。策定にあたっては、既存の社会調査や提言などを読み込んだり、会員へのアンケート調査を実施したり、外部団体へのヒアリングを行うなど、時代の変化をふまえて JVCA が何をすべきなのかを絞り込んでいった。

また、2024 年度は 236 万円の赤字予算で始まった財政的に厳しい年であった。事業開発につながる調査研究で助成金を申請したが不採択。事務局職員に欠員時期があり、赤字額は 150 万円ほど改善しての決算となったが、会費や事業収益面での落ち込みは看過できない事態である。



1 事業の推進

(1) 多様なコーディネーション実践に携わる人たちを対象とする全国集会の開催

①「市民の参加と協働を進めるコーディネーション研究集会 2024」の開催と評価

前年の6月に組織化した実行委員会が主体となり、飯田橋セントラルプラザ（東京）を主会場に標題の集会をハイブリッドにて開催した。オープニングセッションは事前収録した動画をオンデマンド視聴いただくこととともに、当日の午前中にパブリックビューイング方式で会場と一緒に視聴できる方法をとった。分科会は会場のみ、ハイブリッド、オンラインと多様な開催形態を取り、それぞれの良さを活かす運営を心掛けた。

テーマ： 違いをチカラに、多様性を地域のあたり前に

～あつまれ！つなぐれ！課題に向き合うコーディネーター～

期 日：2024年 2月23日（金・祝）～24日（土）

参加者：193人 ※申込者

登壇者（延べ）：60人 分科会協力者：7人 実行委員：38人

<実行委員名簿>

NO	氏名	所 属
1	青木 覚	日本協同組合連携機構（JCA）
2	足立 陽子	淑徳大学地域共生センター
3	粟澤 稚富美	社会教育協会ひの社会教育センター
4	池畑 雄太	渋谷区社会福祉協議会
5	梅澤 稔	いたばし総合ボランティアセンター
6	上田 英司	日本 NPO センター
7	江坂 静子	東京都つながり創生財団
8	開澤 裕美	中央大学 ボランティアセンター
9	鹿住 貴之	JUON（樹恩）NETWORK
10	勝井 裕美	シャプラニール＝市民による海外協力の会
11	加藤 悦與	神奈川県立こども医療センター
12	唐木 理恵子	紬ワークス
13	菅野 道生	淑徳大学 総合福祉学部
14	菊池 哲佳	多文化社会専門職機構
15	熊谷 紀良	東京ボランティア・市民活動センター
16	齋藤 尚久	日本社会教育士会
17	杉浦 健	共働プラットホーム
18	手嶋 俊平	川崎市社会福祉協議会 福祉部 ボランティア活動振興センター
19	富澤 真麻	埼玉県立小児医療センター
20	蔦 直宏	日本生活協同組合連合会
21	直井 友樹	横浜国立大学大学院
22	中谷 隆秀	長野県生活協同組合連合会

23	永松 誠	千代田区社会福祉協議会
24	早瀬 昇	大阪ボランティア協会
25	疋田 恵子	杉並区社会福祉協議会
26	平林 秀敏	川崎市社会福祉協議会 総務部 企画調整室
27	藤居 昌行	小平市社会福祉協議会
28	藤井 美香	横浜市国際交流協会
29	藤掛 素子	中央大学 ボランティアセンター
30	牧野 大樹	横浜市港北区社会福祉協議会
31	明城 徹也	JVOAD
32	宮崎 雅也	日野市社会福祉協議会
33	武藤 祐子	千代田区社会福祉協議会
34	村松 清玄	シャンティ国際ボランティア会
35	文珠 正也	労働者協同組合 'ワーカーズコープ・センター事業団 関西事業本部
36	矢富 明德	佐賀県国際交流協会
37	山田 翔太	世田谷トラストまちづくり
事務局	後藤 麻理子	日本ボランティアコーディネーター協会
事務局	神保 彩乃	日本ボランティアコーディネーター協会
事務局	梅田 俊樹	日本ボランティアコーディネーター協会
サポート	榎本 朝美	東京ボランティア・市民活動センター

<実行委員会開催状況>

回	開催日	形態	人数
第10回	1月14日(日)	オンライン	24人
第11回	2月4日(日)	オンライン	31人
第12回	3月31日(日)	オンライン	26人

②「市民の参加と協働を進めるコーディネーション研究集会2025」の企画

2025年2月22日(土)-23日(日祝)に開催することを決定した。5月の準備会において実行委員の人選を行い、6月に第1回実行委員会(オリエンテーション)を実施した。委員会では筒井のり子さん(JVCA理事/龍谷大学教授)を委員長に互選。月1回程度の委員会において集会のテーマや骨子、開催内容について協議し、12月上旬に参加者の募集を開始した。

<実行委員名簿>

NO	氏名	所属
1	青山 織衣	大阪ボランティア協会
2	赤澤 清孝	大谷大学
3	東 直美	地方危機管理研究所
4	石井 祐理子	京都光華女子大学
5	井手 俊介	京都市社会福祉協議会

6	磯野 奈緒	市民活動サークルえん
7	岡 秀和	関西学院大学ボランティア活動支援センターヒューマン・サービス支援室
8	岡見 厚志	World Seed／天神祭ごみゼロ大作戦実行委員会
9	小柏 博英	福井市社会福祉協議会
10	奥村 昭	社会福祉法人六心会
11	小笹 優佳	奈良市社会福祉協議会
12	柏木 登起	シミズシーズ
13	加藤 圭子	高島市（元 市民協働課）
14	鹿住 貴之	JUON（樹恩）NETWORK
15	北尾 尚子	京都府社会福祉協議会
16	國實 紗登美	龍谷大学ボランティア・NPO 活動センター
17	栗田 佳典	関西 NGO 協議会
18	古泉 志保	佐賀県庁地域おこし協力隊／認定 NPO 法人 地球市民の会
19	杉浦 健	共働プラットフォーム
20	田口 雄一	ぱれっと
21	田中 秀幸	守山市（元 市民協働課）
22	土田 恭仁子	宇治市社会福祉協議会
23	筒井 のり子	龍谷大学
24	永井 美佳	大阪ボランティア協会
25	中村 夏美	大阪府生活協同組合連合会
26	永松 学	京都市社会福祉協議会
27	馬袋 真紀	朝来市役所
28	濱道 俊成	枚方市社会福祉協議会
29	早瀬 昇	大阪ボランティア協会
30	広中 歩	京エコロジーセンター 環境教育推進室・地域環境活動促進室
31	水田 真澄	吹田市社会福祉協議会
32	文珠 正也	労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団関西事業本部
33	矢富 明德	佐賀県国際交流協会
34	藪内 拓樹	大津市社会福祉協議会ボランティアセンター
35	山崎 智文	京都産業大学ボランティアセンター
36	吉田 裕貴	龍谷大学ボランティア・NPO 活動センター
37	頼政 良太	被災地 NGO 協働センター／関西学院大学
38	山下 陽菜乃	龍谷大学 学生
事務局	後藤 麻理子	日本ボランティアコーディネーター協会
	神保 彩乃	日本ボランティアコーディネーター協会
	島山 拓也	日本ボランティアコーディネーター協会

<実行委員会開催状況>

回	開催日	形態	人数
準備会	5月12日(土)	オンライン	—
準備会	5月21日(火)	オンライン	—
事務局チームミーティング①	6月10日(月)	オンライン	—
第1回	6月17日(月)	オンライン	39人
事務局チームミーティング②	6月24日(月)	オンライン	—
第2回	7月7日(日)	龍谷大学大阪梅田キャンパス (ハイブリッド)	26人
事務局チームミーティング③	7月15日(月祝)	オンライン	—
第3回	8月3日(土)	龍谷大学大阪梅田キャンパス (ハイブリッド)	30人
事務局チームミーティング④	8月15日(木)	オンライン	—
第4回	9月9日(月)	オンライン	31人
事務局チームミーティング⑤	9月20日(金)	オンライン	—
第5回	10月5日(土)	龍谷大学深草キャンパス (ハイブリッド)	31人
事務局チームミーティング⑥	10月17日(木)	オンライン	—
第6回	10月22日(火)	オンライン	35人
事務局チームミーティング⑦	10月28日(月)	オンライン	—
第7回	11月2日(土)	龍谷大学大阪梅田キャンパス (ハイブリッド)	30人
第8回	11月7日(木)	オンライン	23人
事務局チームミーティング⑧	11月18日(月)	オンライン	—
第9回	11月26日(火)	オンライン	25人
事務局チームミーティング⑨	11月28日(木)	オンライン	—
第10回	12月8日(日)	龍谷大学大阪梅田キャンパス (ハイブリッド)	28人



←実行委員会は
ハイブリッドで

12月からは→
SNSでも
PR大作戦



(2) 研修の開催および研修企画の支援

- ①ボランティアコーディネーションカ1級検定直前研修の開催 (オンライン)
- ②ボランティアコーディネーションカ2級検定直前研修の開催 (東京・大阪・福岡)
- ③ボランティアコーディネーションカ3級検定直前研修の開催
- ④ボランティアコーディネーションカ3級検定直前研修の共催
→※①～④は(3)で報告する
- ⑤初任者向け：ボランティアコーディネーター基礎研修
(計画2回：東京・大阪 / 実施2回：オンライン・大阪会場)

No	研修名	開催日	講師	人数
1	新任ボランティアコーディネーター基礎研修	6月25日(火)	唐木 理恵子 後藤 麻理子	54人
2	第1回：オンライン 第2回：市民活動スクエア@大阪 共催：大阪ボランティア協会	10月29日(火)	竹田 純子 岩本 裕子 青山 織衣	34人

- ・初任者向けe動画講義(富士通ラーニングメディアとの提携)の普及

科目：ボランティアコーディネートを学ぶ1～ボランティアとコーディネートの理解 40件

ボランティアコーディネートを学ぶ2～ボランティア受け入れのマネジメント 30件

- ⑥人と組織のコーディネーションカアップ研修・講座

- ・実務研修「コーディネーションの知識とスキルを高める」の開催

(計画8回/実施5回：オンライン)

回	研修名	開催日	講師	人数
第1回	地域と大学生・若者がともに輝くコーディネーション①	6月19日(水)	小原 宗一 開澤 裕美 齋藤 元気 大藤 毅	16人
第2回	地域と大学生・若者がともに輝くコーディネーション②	7月24日(水)	小原 宗一 開澤 裕美 齋藤 元気	17人
第3回	“高齢化”をポジティブワードに変える!	8月29日(木)	戸田千代美 竹脇 恵美 事例：男の脳鳴俱樂部、 伊那まちレコード 喫茶を楽しむ会	17人
第4回	地域のなかの多文化共生と活動のコーディネーションI まず知ろう!～外国人住民との協働に向けて～	9月27日(金)	栗木 梨衣 藤井 美香	16人

第5回	地域のなかの多文化共生と活動のコーディネーションⅡ 進めよう～！外国人とつくる地域防災	10月11日 (金)	菊池 哲佳 矢富 明德	16人
-----	--	---------------	----------------	-----

・キラリ☆と光る実践に学ぶセミナーの開催（計画2回／実施1回：オンライン）
タスクチームメンバー（佐藤匠、石黒建一、濱道俊成）

回	セミナー名	開催日	登壇者	人数
第1回	「襟裳（えりも）には本当に“何もない”のか？」 ～障害当事者の参加や支え合いを促進するコーディネーションの実践から～	12月 5日（木）	ゲスト：高田大志 （カフェデモンク えりも副代表） コメンテーター： 遠山昌子 MC：石黒建一	21人

<チーム会議>

回	開催日	形態
第1回	5月 1日（水）	オンライン
第2回	5月15日（水）	オンライン
第3回	6月 3日（月）	オンライン
第4回	9月11日（水）	オンライン
第5回	11月25日（月）	オンライン

⑦大学ボランティアセンター職員セミナー2024の開催

（計画 基礎1回：実践1回：オンライン／実施 基礎1回：実践1回）

テーマ：なぜ「共に」？どう「共に」を創るか？

No	内容	開催日	登壇者	人数
1	基礎セミナー	9月12日（木）	<基礎> 赤澤清孝／青山学院大学／新潟青陵大学・新潟青陵大学短期大学部	26人
2	実践セミナー <全体会・分科会>	9月13日（金）	<実践> 川田虎男／赤澤清孝／高城芳之／細野希／滝井元視／秋田有加里／水谷耕平／竹田純子／山崎智文	39人

<実行委員名簿>

◎委員長

NO	氏名	所属
1	赤澤 清孝 ◎	大谷大学
2	秋田 有加里	愛知淑徳大学 コミュニティコラボレーションセンター
3	芦澤 弘子	聖学院大学 ボランティア活動支援センター
4	岡 秀和	関西学院大学 ボランティア活動支援センター・ヒューマン・サービス支援室
5	開澤 裕美	中央大学 ボランティアセンター
6	上條 直美	フェリス女学院大学ボランティアセンター
7	竹田 純子	龍谷大学 ボランティア・NPO 活動センター
8	水谷 耕平	青山学院大学シビックエンゲージメントセンター
9	山崎 智文	京都産業大学 ボランティアセンター

<委員会開催実績>

回	開催日	形態
第1回	3月21日(木)	オンライン
第2回	4月28日(日)	オンライン
第3回	5月20日(月)	オンライン
第4回	7月1日(月)	オンライン
第5回	9月3日(火)	オンライン
第6回	9月25日(水)	オンライン

⑧研修への講師派遣と講座等の企画支援

- ・研修への講師派遣を希望する団体に対し、開催の目的やねらい、テーマ等を調整したうえで、JVCAの理事・運営委員等を派遣した。

派遣 72件 研修日数 82日 / 派遣講師 15人(実人数)

- ・講師派遣先を開拓するために講師派遣事業についての案内チラシを関係機関に送付した。(検定周知の際に同封)。

⑨団体の職員研修(パッケージ型)の提供

→3つの標準メニューを例示し、会員およびWEBサイトで公開した。

⑩ボランティアコーディネーターに役立つ動画の企画と作成、配信

→動画作成チームにより、新任ボランティアコーディネーターを主たるターゲットに、ボランティアについての理解を深める動画を3本作成し、4月中旬よりWEBサイト(youtube)で配信した。

① ボランティアの語源とキー概念 614回視聴

② 無償性と無償の積極的な意味 330回視聴

③ ボランティアの社会的意味と強み弱み 345 回視聴

<動画作成チーム> →5月に解散

(長谷部治、國實紗登美、佐藤匠、宮城智広、三田響子、小谷広幸、牧野大樹)

・チームミーティング実績

回	開催日	形態
第1回	1月9日(火)	オンライン
第2回	2月13日(火)	オンライン
第3回	4月10日(水)	オンライン

⑪事例から深める！ボランティアコーディネーション研究会 開催

1, 2級合格者の実践力向上のために、合格者に呼びかけ、ボランティアコーディネーションの視点とポイントを深める事例研究会を実施した。1級検定試験委員の岩井俊宗さんと小原宗一さんが進行兼コメンテーターとなり、各回、1級合格者が取り組んだ事例をもとに検討会を実施した。

回	開催日	形態
第1回	10月29日(火)	オンライン
第2回	12月3日(火)	オンライン

(3) ボランティアコーディネーション力検定の実施

①ボランティアコーディネーション力1級検定試験の実施(計画1回/実施1回)

第1回(通算第12回)ボランティアコーディネーション力1級検定の直前研修および試験を事前動画視聴とオンラインを組み合わせ実施した。

開催地・会場	開催日	講師・メンター、試験監督	受験者
直前研修：講義 (動画視聴)	7月31日(水)～ ※オンデマンド	筒井のり子、早瀬 昇	10人
直前研修：演習 (オンライン)	8月24日(土) 8月25日(日)	小原 宗一、岩井 俊宗、疋田 恵子、 上田 英司、後藤麻理子	10人
検定試験/評価 (オンライン・ WEBフォーム)	9月15日(日)	岩井 俊宗、小原 宗一、疋田 恵子、 永井 美佳、垂井 加寿恵、竹田 純子、 後藤 麻理子	9人

<第1回(通算第11回) 1級検定 試験結果>

受験者数	9人	合格者数	6人	合格率	66.7%
------	----	------	----	-----	-------

②ボランティアコーディネーションカ2級検定試験の実施

(計画2回・2か所/実施2回・2か所)

開催地・会場	開催日	講師・採点	受験者
<第1回> 通算28回 大阪会場： 大阪府社会福祉会館	講義動画視聴 10月13日(日)～	後藤 麻理子 早瀬 昇 筒井 のり子 妻鹿 ふみ子	15人
	直前研修 & 検定試験 10月27日(日)	垂井 加寿恵 竹田 純子 栗木 梨衣 筒井 のり子	
<第2回> 通算29回	講義動画視聴 11月3日(日)～	後藤 麻理子 早瀬 昇 筒井 のり子 妻鹿 ふみ子	37人
東京会場： 大学生協杉並会館	直前研修 & 検定試験 11月17日(日)	鹿住 貴之 疋田 恵子 後藤 麻理子	24人
福岡会場： 大野城市 総合福祉センター	直前研修 & 検定試験 11月17日(日)	公文 真理亜 竹田 純子 栗木 梨衣	14人

<第1・2回 2級検定 試験結果>

	大阪	東京	福岡	合計
受験者数	15人	24人	14人	53人
合格者数	11人	20人	12人	43人
合格率	73.3%	83.3%	85.7%	81.1%

④ 3級検定試験(主催)の実施 (計画3回/実施4回)

第1回(通算38回)：

開催地・会場	開催日	直前研修講師	受験者
東京会場：飯田橋セントラルプラザ <後援：東京ボランティア・市民活動センター>	7月6日 (土) 直前研修 検定試験	三田 響子 矢島 万理	52人
大阪会場：大阪府社会福祉会館 <研修共催：大阪ボランティア協会>		※オンデマンド 研修録画視聴者含む	
		永井 美佳 佐藤 匠	37人
		※オンデマンド 研修録画視聴者含む	

栃木会場：小山市市民活動センター（おやまーる） ＜協力：小山市市民活動センター＞		オンデマンド 研修録画視聴	16人
---	--	------------------	-----

第2回（通算39回）：

開催地・会場	開催日	直前研修講師	受験者
東京会場：東京ボランティア・市民活動センター	8月27日 (火) 検定試験	オンデマンド 研修録画視聴	38人
岐阜会場：じゅうろくプラザ			16人
滋賀会場：キラリ工草津			9人
大阪会場：CANVAS 谷町			19人

第3回（通算40回）：

開催地・会場	開催日	直前研修講師	受験者
東京会場：飯田橋セントラルプラザ ＜後援：東京ボランティア・市民活動センター＞	12月1日 (日) 直前研修 検定試験	鹿住 貴之 唐木 理恵子	41人
		※オンデマンド研修視聴・ 検定試験のみを含む	
大阪会場：大阪府社会福祉会館 ＜研修共催：大阪ボランティア協会＞		永井 美佳 垂井 加寿恵	38人
		※オンデマンド研修視聴・ 検定試験のみを含む	
仙台会場：仙台市戦災復興記念館		オンデマンド 研修視聴	3人

第4回（通算41回）：

開催地・会場	開催日	直前研修講師	受験者
山口会場：しゅうなん市民活動支援センター ＜協力：NPO 法人市民プロデュース しゅうなん市民活動支援センター＞	12月7日 (土) 直前研修 検定試験	オンデマンド 研修視聴	7人

＜試験結果＞

	第1回			第2回			
	東京	大阪	栃木	東京	岐阜	滋賀	大阪
受験者数	52人	37人	16人	38人	16人	9人	19人
合格者数	47人	34人	15人	36人	15人	8人	17人
合格率	90.4%	91.0%	93.8%	94.7%	93.8%	88.9%	89.5%

	第3回			第4回	合計
	東京	大阪	仙台	山口	
受験者数	41人	38人	3人	7人	276人
合格者数	37人	36人	2人	7人	254人
合格率	90.2%	94.7%	66.7%	100.0%	92.0%

共催検定（計画6回／実施6回） ※その他（研修共催のみ）1回

共催団体	開催日	講師
① 東京都社会福祉協議会 東京ボランティア・市民活動センター	7月6日（土）	三田 響子、矢島 万理
② 東北公益文科大学	9月1日（日）	講義動画を会場で視聴
③ 長野県社会福祉協議会	11月19日（火）	筒井 のり子
④ 龍谷大学	12月7日（土）	早瀬 昇、筒井 のり子

<試験結果>

	①	②	③	④	合計
受験者数	34人	24人	22人	34人	114人
合格者数	33人	18人	18人	29人	98人
合格率	97.1%	75.0%	81.8%	85.3%	86.0%

●その他：直前研修のみ共催

共催団体	開催日	講師	受講者
いずみ市民大学 (特定非営利活動法人 SEIN)	10月12日（土）	早瀬 昇	12人 うち9人受験
	10月26日（土）	青山 織衣	
	11月 2日（土）		
	11月23日（土）		

3級検定の直前研修風景
(東京会場) →



④ボランティアコーディネーション力検定試験委員会の運営

試験委員会を設置し、各級ごとにチームミーティングを開催し、試験問題を作成した。

<委員名簿>

◎委員長 ☆各級チームリーダー

No	委員名	所属	担当
◎ 1	妻鹿 ふみ子	東海大学	総括
☆ 2	小原 宗一	北区社会福祉協議会（東京）	1級
3	疋田 恵子	杉並区社会福祉協議会	1級
4	岩井 俊宗	とちぎユースサポーターズネットワーク	1級
5	上田 英司	日本 NPO センター	1級
6	後藤 麻理子	日本ボランティアコーディネーター協会	1級
7	青山 織衣	大阪ボランティア協会	2級
8	栗木 梨衣	中部圏地域創造ファンド	2級
9	公文 真理亜	北九州市社会福祉協議会	2級
☆10	垂井 加寿恵	神戸学院大学 ボランティア活動支援室	2級
11	三田 響子	座間市社会福祉協議会	2級
☆12	足立 陽子	淑徳大学地域共生センター	3級
13	唐木 理恵子	紬ワークス	3級
14	土崎 雄祐	とちぎ市民協働研究会	3級
15	鹿住 貴之	JUON（樹恩）NETWORK	3級
16	佐藤 匠	至学館大学	3級

各級（1級・2級・3級）ごとのチームミーティングの開催

<1級検定チーム>

回	開催日	形態	参加人数
事例問題作成	8月 1日（木）	オンライン	3人
第1回	9月19日（木）	オンライン	5人

<2級検定チーム>

回	開催日	形態	参加人数
第1回	2月28日（水）	オンライン	4人
第2回	5月 8日（水）	オンライン	5人
第3回	7月 7日（日）	オンライン	4人
第4回	8月11日（日）	オンライン	5人
第5回	9月16日（月・祝）	オンライン	4人
第6回	10月1日（火）	オンライン	4人

<3級検定チーム>

回	開催日	形態	参加人数
第1回	4月27日（土）	JVCA 事務所	5人
第2回	7月13日（土）	JVCA 事務所	4人
採点	9月10日（火）	JVCA 事務所	3人

第3回	9月24日(火)	JVCA 事務所	5人
採点	11月27日(水)	JVCA 事務所	2人
採点	12月12日(木)	JVCA 事務所	2人

⑥ボランティアコーディネーション力検定研修委員会の運営

前年度の1、2級直前研修の振り返りを行い、本年度の研修プログラムやテキストの改訂について協議した。また、3級検定公式テキストの改訂および動画の再収録を行った。

<委員名簿>

No	委員名	所 属
1	岩井 俊宗	とちぎユースサポーターズネットワーク
2	小原 宗一	北区社会福祉協議会(東京)
3	後藤 麻理子	日本ボランティアコーディネーター協会
4	竹田 純子	龍谷大学 ボランティア・NPO活動センター
5	筒井 のり子	龍谷大学
6	早瀬 昇	大阪ボランティア協会
7	疋田 恵子	杉並区社会福祉協議会

・検定研修委員会の開催実績

回	開催日	形態	参加人数
第1回	5月27日(月)	オンライン	5人

⑦ボランティアコーディネーション力検定2・3級直前研修講師養成

2級検定直前研修において新たに3人が講師を務めた。

⑧検定合格者(3級・2級)に対する上級検定情報の提供

登録アドレスにダイレクトメールで案内した。

⑨1、2級検定合格を祝う会

検定プロモーションプロジェクトチームが主催して、1月19日の夜に、前年度の1級及び2級合格者に呼びかけてお祝いをする会をオンラインで実施した。参加者は8人(申込は11人)とチームメンバー。

(4) 情報の収集及び提供活動の推進

①メールマガジンの発行(月1回程度)

→JVCA めるまが Co★Co★Net 第203号～第207号の発信

②JVCA 公式 Facebook の運営

→適宜、委員会や事業案内などの記事を発信した。

③JVCA の YouTube 公式チャンネルの運営 → (7) ⑥で報告

④JVCA 紹介チラシの作成、配付

→JVCA の団体紹介チラシを作成し、会場で開催する研修先では参加者に配付し、オンライン研修ではデータをチャットに貼り付ける形で配付した。

⑤WEB サイトの情報更新

→適宜、情報発信およびメンテナンスを行った。

⑥ボランティアコーディネーションに関する図書・文献情報の収集

→『ボランティア活動の責任』 溝手泰史 著 (共栄書房)

『ボランティア論』 池田幸也 著 (大学図書出版)

『研究編 究める！福祉教育・ボランティア学習の課題』 / 『実践編 広がる！ふくしの学び』 編集：日本福祉教育・ボランティア学習学会 30 周年記念出版編集委員会 (大学図書出版)

⑦令和 6 年度能登半島地震の発生をうけて、Web サイトにお見舞いのメッセージとともに、ボランティアの呼びかけや調整、後方支援などにあたる方々に向けて、あらためて「災害ボランティアコーディネーションにたずさわる皆さまへ」を紹介し、災害支援においてボランティアコーディネーションを進めるポイントを発信した。

(5) 広報紙および出版物の発行

①ニュースレター『Co★Co★Net』の発行 (計画：3 回/発行：3 回) 部数：400 部

第 71 号 (4 月 8 日) 特集：“言葉”からボランティア活動の価値を考える

第 72 号 (8 月 30 日) 特集：ボランティアについて学ぶ“職場研修”のすすめ

第 73 号 (12 月 15 日) 特集：地域のなかの多文化共生を進めるために

②ボランティアコーディネーションカ 1 級検定テキストの発行 20 部

③ボランティアコーディネーションカ 2 級検定サブテキストの発行 80 部

④『ボランティアコーディネーションカー市民の社会参加を支えるチカラ (第 3 版)』 (発行：中央法規) の改訂

(6) 調査・研究事業の実施

①「グッドプラクティス認定システム化委員会」の運営および実践事例の募集

・「グッドプラクティス認定システム化委員会」の設置

No	委員名	所 属
1	岩井 俊宗	とちぎユースサポーターズネットワーク
2	上田 英司	日本 NPO センター
3	小原 宗一	北区社会福祉協議会 (東京)
4	後藤 麻理子	日本ボランティアコーディネーター協会

・委員会の開催

回	開催日	形態	参加人数
第1回	5月10日(金)	オンライン	4人

→事例は常時募集をしているが、1件の応募(キラリ部門)があった。

②マスコミ向けパンフレットの作成

ボランティア報道アクションチームにより、報道関係者向けにパンフレットの作成に取り組んだ。ボランティアに関連する言葉や表現についての違和感について会員等を対象にアンケート調査を実施し、結果を「この表現ってどうなの？言葉をめぐるモヤモヤの正体は?!」としてまとめ、Webサイトでも掲載した。

<ボランティア報道アクションチーム> (早瀬昇、竹脇恵美、清水由子、橋詰勝代、高橋義博、疋田恵子、石黒建一、齋藤元気、田口雄一)

・チームミーティング実績

回	開催日	形態
第1回	1月12日(金)	オンライン
第2回	1月25日(木)	オンライン
第3回	2月9日(金)	オンライン
第4回	2月18日(日)	オンライン
第5回	4月17日(水)	オンライン
第6回	5月2日(木)	オンライン
第7回	6月1日(土)	オンライン
第8回	6月9日(日)	オンライン
第9回	7月1日(月)	オンライン
第10回	7月22日(月)	オンライン
第11回	8月28日(水)	オンライン
第12回	9月12日(木)	オンライン

③地域自治組織の再構築へのボランティアコーディネーションカ活用のスキームを
考える調査研究事業

標記の調査研究について協議を進めてきた。協議の結果、まずは丸紅基金の社会福祉助成金を申請してみることにになり、「瀕死の地縁組織を活性化するための先進事例調査」として6月28日に申請をしたが、採択されなかった。

<助成金申請タスクチーム> (早瀬昇、筒井のり子、西川正、妻鹿ふみ子、土崎雄祐、文珠正也、中谷隆秀、直井友樹)

・タスクチームミーティング実績

回	開催日	形態
第1回	4月16日(火)	オンライン
第2回	5月12日(日)	オンライン
第3回	5月29日(水)	オンライン
第4回	6月12日(水)	オンライン
第5回	12月24日(火)	オンライン

(7) ボランティアコーディネーターの交流の促進

① CoCoサロンの開催・運営支援

地域プロモーション委員会を中心に CoCo サロンの立ち上げおよび運営を支援。

・CoCoサロンの開催状況

No	開催日	サロン名	会場	人数	テーマ
1	1月26日(金)	CoCo サロン 四国	オンライン	9人	会員以外の参加も得て、災害を交流のキーテーマとして各団体の取り組みを紹介し合った。
2	1月31日 (水)	CoCo サロン 北九州 Link 福祉施設	生き方のデザイン研究所 ハイブリッド	5人	福祉施設やボランティアをキーワードに、ざっくばらんな情報交換、対話による学びの場とした。
3	3月27日 (水)	CoCo サロン 北九州 Link 福祉施設	生き方のデザイン研究所ハイブリッド	2人	参加者のドタキャンが続き、結果的に今後の運営方法について意見交換することになった。
4	4月7日 (日)	CoCo サロン 関西・北陸	オンライン	11人	JVCC2024に参加しての感想やプログラムの内容を共有し、振り返りを行った。
5	5月29日 (水)	CoCo サロン 北九州 Link 福祉施設	生き方のデザイン研究所ハイブリッド	7人	地域福祉やボランティアをキーワードに、ざっくばらんな情報交換、対話の場とした。
6	7月31日 (水)	CoCo サロン 北九州 Link 福祉施設	オンライン	8人	地域福祉やボランティアをキーワードに、ざっくばらんな情報交換、対話の場とした。
7	8月25日 (日)	CoCo サロン 庄内	楽家	6人	西川正さんを招いて、西川さんとあそぼう！～おいしくたのしい夏の交流の場を開いた。
8	8月27日 (火)	防災×ボランティア×コーディネーション情報交換会	オンライン	11人	一般社団法人 BOSAI Edulab 理事長の上田啓胡さんを招いて、防災とボランティア、コーディネーションについて語り合った。

9	9月25日 (水)	CoCo サロン 北九州 Link 福祉施設	オンライン	5人	地域福祉やボランティアをキーワードに、ざっくばらんな情報交換、対話の場とした。
10	11月27日 (水)	CoCo サロン 北九州 Link 福祉施設	オンライン	5人	地域福祉やボランティアをキーワードに、ざっくばらんな情報交換、対話の場とした。
11	12月4日 (水)	CoCo サロン 東北	オンライン	10人	宮古市社協の有原さん・菊池さんを招いて、若者が活躍する場づくりについての事例をもとに考えた。

・オンラインサロン (WEB 委員会)

No	開催日	サロン名	会場	人数	テーマ
1	1月10日 (水)	いまさら聞けないーオンラインツールサロン	オンライン	5人	広報やコミュニケーションのために使っている IT ツールを題材に、ざっくばらんに意見交換、情報交換を行った。

・動画サロン (地域プロモーション委員会)

No	開催日	サロン名	会場	人数	テーマ
1	12月28日・29日・30日 (土・日・月)	動画サロン	オンライン	延べ 12人	スマホで動画編集ができるアプリ VLLO を使って、動画を繋いだり、カットしたり、文字や BGM を入れたり、と操作の基本を学んだ。

②国内外の関係団体との連携

国内外の関係団体とボランティアコーディネーションの普及促進に関連する事業に後援ならびに協力し、連携を深めた。

<委嘱・協力>

- ・「広がれボランティアの輪」連絡会議への参加
(幹事会/ボランティア全国フォーラムの企画)
- ・東日本大震災支援全国ネットワーク (JCN) への参加
- ・東京都中央区地域振興課：中央区協働推進会議 委員
- ・全国社会福祉協議会：全国ボランティア・市民活動振興センター運営委員会 委員
- ・災害ボランティア活動支援プロジェクト会議 (支援 P) 委員
- ・シャプラニール=市民による海外協力の会：評議員
- ・東京ボランティア・市民活動センター：中間支援組織スタッフの支援力アップ塾企画・評価委員
- ・東京都立川市市民生活部：立川市協働まちづくり推進事業 審査委員
- ・2025 国際協同組合年 (IYC) 全国実行委員会 委員

<後援>

・第 59 回公益財団法人日本精神保健福祉士協会全国大会・第 23 回日本精神保健福祉士学会学術集会（事務局：日本精神保健福祉士協会）

・「ファンドレイジング・日本（FRJ）2025（日本ファンドレイジング協会）

③会員メーリングリストによる会員相互の相談・助言の促進

会員メーリングリストを通して会員間のコミュニケーション 利用件数 112 件

④会員限定 Facebook グループ「集まれ！ボランティアコーディネーター」の活用

WEB 委員会により、コーディネーター同士の気軽に自由な情報交換の場としてコーディネーションに関連する企画や研修情報を発信したり、各自の投稿を促した。

⑤動画「旅する JVCA」を作成し、YouTube の JVCA 公式チャンネルで発信

4 本の動画を作成し、「旅する JVCA」として配信した。

第 9 回 熊谷紀良さん & 榎本朝美さん（東京ボランティア・市民活動センター編）

第 10 回 土田恭仁子さん（宇治市社会福祉協議会事務局次長）

第 11 回 織田元樹さん（NPO 法人ボラみみより情報局代表・愛知県）

第 12 回 関好博さん（富山短期大学教授）

2 組織運営と財政

(1) 通常総会

開催日時	3月3日(日) 10時00分~12時10分
場 所	オンライン会議 (Zoom を利用)
出席者数	218人 (議場出席 50人、書面表決 71人、委任状提出 97人)
審議事項	第1号議案 2023年度事業報告ならびに決算案について 第2号議案 2024年度事業計画ならびに予算案について 第3号議案 第13期役員体制について

総会は成立し、すべての議案が承認された。

(2) 監事監査の実施

2023年度の事業執行についての監事監査を実施した。

日 時	1月29日(月)
場 所	JVCA 事務所
出 席	池田幸也監事、内野恵美監事

(3) 理事会

・理事会の開催 計画：4回 (1月、4月、7月、12月) / 実施2回

回	開催日	会場	出席	審議事項
第86回	2月12日 (月)	オンライン	13人	第1号議案 2023年度事業報告と決算案について / 第2号議案 2024年度事業計画(修正)および予算案について / 第3号議案 第13期役員体制について / 第4号議案 2024年度運営委員選考委員の選任について
第87回	4月3日 (水)	オンライン	15人	第1号議案 正副代表理事の互選について / 第2号議案 各種担当理事の選任について
第88回	7月9日 (火)	オンライン	15人	第1号議案 2024年度上半期事業執行状況(事業計画・予算)について / 第2号議案 第5期中期ビジョン<目次1~3>について
第89回	12月17日 (火)	オンライン	13人	第1号議案 『ボランティア報道ガイドライン(奉仕・慰問編)』案について / 第2号議案 第5期中期ビジョン<第一次案>について / 第3号議案 2025年度事業計画・暫定予算案について / 第4号議案 2025年度 検定試験委員の選任について

(3) - 2 理事候補者選任選挙および開票

- ・第13期（2024.4.1～2026.3.31）理事候補者選任のための選挙（インターネット）
選挙期間：1月6日（土）～1月18日（木）
選挙人総数：293人（被選挙人数：264人） 投票者数：94人 投票率：32.1%
- ・開票作業 1月18日（木） @オンライン
選挙管理委員 鹿住貴之理事 菊地哲佳理事 後藤麻理子理事・事務局長

(3) - 3 第13期役員候補者推薦委員会の開催

1月30日（火）に理事候補者選任選挙において選ばれた理事8人をメンバーとした委員会を開催し、残り7人の理事および監事の候補者を選任した。

(3) - 4 第13期役員を選任

第13期 役員名簿

任期：2024.4.1～2026.3.31

	氏名	所属
代表理事	栗木 梨衣	一般財団法人中部圏地域創造ファンド
副代表理事	小原 宗一	社会福祉法人北区社会福祉協議会
副代表理事	佐藤 匠	至学館大学（人間力開発センター）
理事	赤澤 清孝	大谷大学
理事	阿部 陽一郎	社会福祉法人中央共同募金会
理事	岡 秀和	関西学院大学（ボランティア活動支援センターヒューマン・サービス支援室）
理事	川中 大輔	シチズンシップ共育企画／龍谷大学
理事	後藤 麻理子	認定特定非営利活動法人日本ボランティアコーディネーター協会
理事	土田 恭仁子	社会福祉法人宇治市社会福祉協議会
理事	筒井 のり子	龍谷大学
理事	早瀬 昇	社会福祉法人大阪ボランティア協会
理事	平田 隆之	特定非営利活動法人市民プロデュース
理事	古市 こずえ	社会福祉法人東海村社会福祉協議会
理事	前田 昌宏	日本生活協同組合連合会
理事	矢島 万理	公益社団法人国土緑化推進機構
監事	池田 幸也	茨城キリスト教大学
監事	大久保 朝江	認定特定非営利活動法人杜の伝言板ゆるる

(4) 理事・運営委員合同合宿（ハイブリッド形式）

7月27・28（土・日）にウスタリアンライフクラブ宇佐美（静岡県伊東市）を会場に Zoom を併用してハイブリッドで開催した。



参加者で記念撮影→

※オンライン参加者は
中央のスクリーンに

(5) 委員会

①運営委員会（計画：月1回 全12回／実施：6回）

4月に新体制となり、オンラインと集合形式を組み合わせ実施した。正副代表理事は互選により全員継続の体制となった。

2024年度運営委員体制（2024.4～2025.3）

◎委員長 ○副委員長

NO	氏名	地域	所属
1	石黒 建一	北海道	社会福祉士事務所うらら
2	小野寺 崇	宮城県	仙台市社会福祉協議会
3	栗原 穂子	山形県	特定非営利活動法人ぼらんたす
4	橋本 尚美	福島県	特定非営利活動法人福島県防災士会
○5	土崎 雄祐	栃木県	一般社団法人とちぎ市民協働研究会
6	宮城 智広	埼玉県	鶴ヶ島市社会福祉協議会
7	足立 陽子	東京都	淑徳大学地域共生センター
8	榎本 朝美	東京都	東京ボランティア・市民活動センター
9	鹿住 貴之	東京都	認定特定非営利活動法人 JUON(樹恩) NETWORK
10	唐木 理恵子	東京都	紬ワークス
11	熊谷 紀良	東京都	東京ボランティア・市民活動センター
12	後藤 麻理子	東京都	認定特定非営利活動法人日本ボランティアコーディネーター協会
13	齋藤 元気	東京都	立教大学ボランティアセンター
14	高橋 義博	東京都	府中市市民活動センタープラッツ
15	疋田 恵子	東京都	杉並区社会福祉協議会
16	武藤 祐子	東京都	千代田区社会福祉協議会
17	直井 友樹	神奈川県	横浜国立大学大学院
18	三田 響子	神奈川県	相模原市社会福祉協議会

19	小柏 博英	福井県	福井市社会福祉協議会
20	戸田 千登美	長野県	長野県長寿社会開発センター
21	中谷 隆秀	長野県	長野県生活協同組合連合会
○22	佐藤 匠	愛知県	至学館大学
23	山方 元	愛知県	愛知県立豊川工科高校
24	清水 由子	岐阜県	公益財団法人岐阜市教育文化振興事業団
◎25	國實 紗登美	滋賀県	龍谷大学ボランティア・NPO 活動センター
26	筒井 のり子	滋賀県	龍谷大学
27	橋詰 勝代	滋賀県	高島市社会福祉協議会
28	山崎 智文	京都府	京都産業大学ボランティアセンター
29	田口 雄一	大阪府	認定 NPO 法人ぱれっと
30	濱道 俊成	大阪府	枚方市社会福祉協議会
31	早瀬 昇	大阪府	大阪ボランティア協会
32	文珠 正也	大阪府	労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団
33	杉浦 健	兵庫県	共働プラットフォーム
34	橋口 文博	兵庫県	特定非営利活動法人じゅうしん神戸
35	大藤 毅	愛媛県	国立大洲青少年交流の家
36	小谷 広幸	福岡県	NPO 法人とねりこ
37	矢富 明德	佐賀県	佐賀県国際交流協会

・運営委員選考委員会

2月に正会員に公募した2024年度の運営委員募集については37人からの応募があり、委員会において選考を行い、全員応募条件を満たしていることを確認し、代表理事に推薦した。任期は4月1日～翌年の3月30日である。

日時 2024年3月14日(木)

場所 オンライン

メンバー 阿部陽一郎理事、國實紗登美運営委員長、後藤麻理子事務局長

・運営委員会(月1回)の開催実績

回	開催日	会場	人数
第1回	1月21日(日)	オンライン(龍谷大学大阪梅田キャンパス+飯田橋セントラルプラザ)	25人
第2回	2月18日(日)	オンライン(東京ボランティア・市民活動センター)	24人
第3回	3月23日(土)	オンライン(龍谷大学大阪梅田キャンパス+飯田橋セントラルプラザ)	30人
第4回	4月13日(土)	オンライン(龍谷大学大阪梅田キャンパス)	30人
第5回	5月19日(日)	オンライン(龍谷大学大阪梅田キャンパス)	26人
第6回	6月23日(日)	飯田橋セントラルプラザ+オンライン	30人

第7回	7月28日(日)	ウスタリアンライフクラブ宇佐美(合宿) +オンライン	20人 +理事6人
第8回	8月18日(日)	オンライン	29人
第9回	9月21日(土)	オンライン(龍谷大学大阪梅田キャンパス+ 東京ボランティア・市民活動センター)	23人
第10回	11月9日(土)	オンライン	26人
第11回	11月30日(土)	オンライン+東京会場	25人
第12回	12月15日(日)	龍谷大学大阪梅田キャンパス+オンライン	23人

②各種委員会の運営

各種事業の進行管理を徹底し、事業推進と組織運営への会員参加を進めるため、理事、運営委員、会員の参加で以下の委員会を推進した。

i) 研修開発委員会

本年度の実務者研修のテーマ決めとそれぞれのプログラム作成と運営を行った。

回	開催日	会場
第1回	3月17日(日)	オンライン
第2回	4月18日(木)	オンライン
第3回	6月15日(土)	オンライン

ii) 研究集会企画委員会

回	開催日	会場
第1回	10月23日(水)	オンライン
第2回	12月18日(水)	オンライン

iii) 財政委員会

2023年度本予算および2024年度暫定予算案の作成と財源確保について協議し、調査研究事業での助成金申請の対策を協議した。助成金申請に関してはタスクチーム結成までを牽引した。

回	開催日	会場
第1回	1月30日(火)	オンライン
第2回	9月21日(土)	オンライン
第3回	11月8日(金)	オンライン
第4回	11月22日(金)	オンライン

iv) WEB 委員会

JVCA 公式 Facebook の運営、Facebook グループへの発信・管理。あらためて WEB 委員会のタスクについても確認した。

回	開催日	会場
第 1 回	1 月 5 日 (金)	オンライン
第 2 回	7 月 3 日 (水)	オンライン
第 3 回	8 月 2 日 (金)	オンライン
第 4 回	9 月 4 日 (水)	オンライン

v) 地域プロモーション委員会

CoCo サロン開催の呼びかけ、旅する JVCA (会員会談動画) の作成など、役割を分担して進捗状況を確認しながら進めた。また、動画はハードルが高いという方もいることを想定して、音声のみ (ラジオ番組風) のコンテンツ “耳だけ JVCA” を試行した。

回	開催日	会場
第 1 回	1 月 20 日 (土)	オンライン
第 2 回	2 月 14 日 (水)	オンライン
第 3 回	3 月 23 日 (土)	オンライン
第 4 回	4 月 13 日 (土)	オンライン
第 5 回	5 月 19 日 (日)	オンライン
第 6 回	6 月 23 日 (日)	オンライン
第 7 回	7 月 10 日 (水)	オンライン
第 8 回	8 月 18 日 (日)	オンライン
第 9 回	9 月 21 日 (土)	オンライン
第 10 回	11 月 9 日 (土)	オンライン
第 11 回	11 月 20 日 (水)	オンライン
第 12 回	12 月 15 日 (日)	オンライン

③ 専門委員会の設置、運営

- i) ボランティアコーディネーション力検定試験委員会 → **事業の推進 (3)** で
- ii) ボランティアコーディネーション力検定研修委員会 → **事業の推進 (3)** で
- iii) グッドプラクティス認定システム化委員会 → **事業の推進 (6)** で

④ プロジェクトチームの運営

各種委員会の他に、必要に応じて各種チームを構成し、事業の進行を図る。

検定プロモーションプロジェクトチーム（継続）

・チームミーティング実績

回	開催日	形態
第1回	3月23日（土）	オンライン
第2回	4月13日（土）	オンライン
第3回	6月23日（日）	オンライン
第4回	8月18日（日）	オンライン
第5回	11月9日（土）	オンライン
第6回	12月24日（火）	オンライン

⑤第5期中期ビジョン策定タスクチーム

2025～2029の5年間の次期ビジョンの策定に着手し、理事・運営委員合同合宿および運営委員会での協議を経て、12月の理事会に第一次案を上程した。

<チームメンバー>

No	氏名	所属	JVCAでの主な役割
1	榎本 朝美	東京ボランティア・市民活動センター	運営委員
2	鹿住 貴之	JUON（樹恩） NETWORK	副代表理事／運営委員
3	國實 紗登美	龍谷大学ボランティア・NPO活動センター	運営委員長
4	佐藤 匠	至学館大学	理事／副運営委員長
5	土崎 雄祐	とちぎ市民協働研究会	副運営委員長

・チームミーティング実績

回	通算	開催日	形態
第1回	第7回	2月8日（木）	オンライン
第2回	第8回	2月16日（金）	オンライン
第3回	第9回	3月12日（火）	オンライン
第4回	第10回	4月5日（金）	オンライン
第5回	第11回	5月12日（日）	オンライン
第6回	第12回	6月13日（木）	オンライン
共有会議（理事・運営委員）		6月18日（火）	オンライン
第7回	第13回	6月25日（火）	オンライン
第8回	第14回	7月14日（日）	オンライン
第9回	第15回	7月22日（月）	オンライン
第10回	第16回	8月16日（金）	オンライン
第11回	第17回	8月22日（木）	オンライン

第 12 回	第 18 回	9 月 13 日 (金)	オンライン
第 13 回	第 19 回	10 月 4 日 (金)	オンライン
第 14 回	第 20 回	10 月 15 日 (火)	オンライン
第 15 回	第 21 回	10 月 31 日 (木)	オンライン
第 16 回	第 22 回	11 月 12 日 (火)	オンライン
第 17 回	第 23 回	11 月 28 日 (木)	オンライン
第 18 回	第 24 回	12 月 28 日 (土)	オンライン

(7) 会員拡大および会員サービスの充実

①「顧客・支援者データベース」の活用

各種事業についての案内を該当する顧客を検索し、適宜 E メールにより周知した。

②会員拡大に関する取り組み

- ・ボランティアコーディネーション力検定合格者に対し、入会の案内を行った。
- ・入会のインセンティブとしての割引等を、研究集会や検定、研修申込の際に案内した。

2024 年度末の会員数

種別	数	計
正会員	300	398
準会員	10	
賛助会員 (個人)	80	
賛助会員 (団体)	8	

年度末の会員数は 398 人。ここ数年は会員の減少傾向がみられる。研修などオンラインでのプログラムが多く、画面を通して入会を呼びかけたが効果はあがらなかった。

③会費納入率の向上への取り組み

2 月に新年度の会員継続と会費納入を依頼するダイレクト E メールを送り、4 月の広報紙発送の際には未納者への納入依頼文書を同封した。以降、8 月と 12 月の広報紙発送時にも依頼文書を送付した。11 月～12 月には運営委員が分担し、E メールやメッセージングなど各自の顔見知りの会員に対し会員継続と会費納入をお願いした。

(8) 事務局運営の充実

①事務局常勤スタッフの採用

3 月はじめに常勤職員より退職の意向があり、3 月末での退職を承認した。これに伴い新規の職員募集を行い、7 月 1 日付で常勤職員 (嘱託) を採用した。

②事務局担当理事の設置とスーパービジョンの実施

職員の試用期間が明け、および年度末の契約更新に際して勤務状況を報告し、アドバイスをもらった。

③ボランティアコーディネーションに関わる拠点機能の強化

ボランティアコーディネーターに役立つ書籍を収集した。

(9) 財源の確保

①会費収入の拡大

年度が変わり、会員継続と会費納入のお願いをメールで一斉に行った。また、広報紙を送付する際には会費未納者に対する依頼を文書で行った。

②事業収益の拡大

案内チラシの送付、関係団体のメルマガへの発信、メールやメッセージによる個別のPRなど、研修や検定の周知、講師派遣先の開拓を行った。

③寄付者の拡大

12月に会員に対し、コーディネーターみらい募金およびU-30応援募金への寄付を呼びかけた。

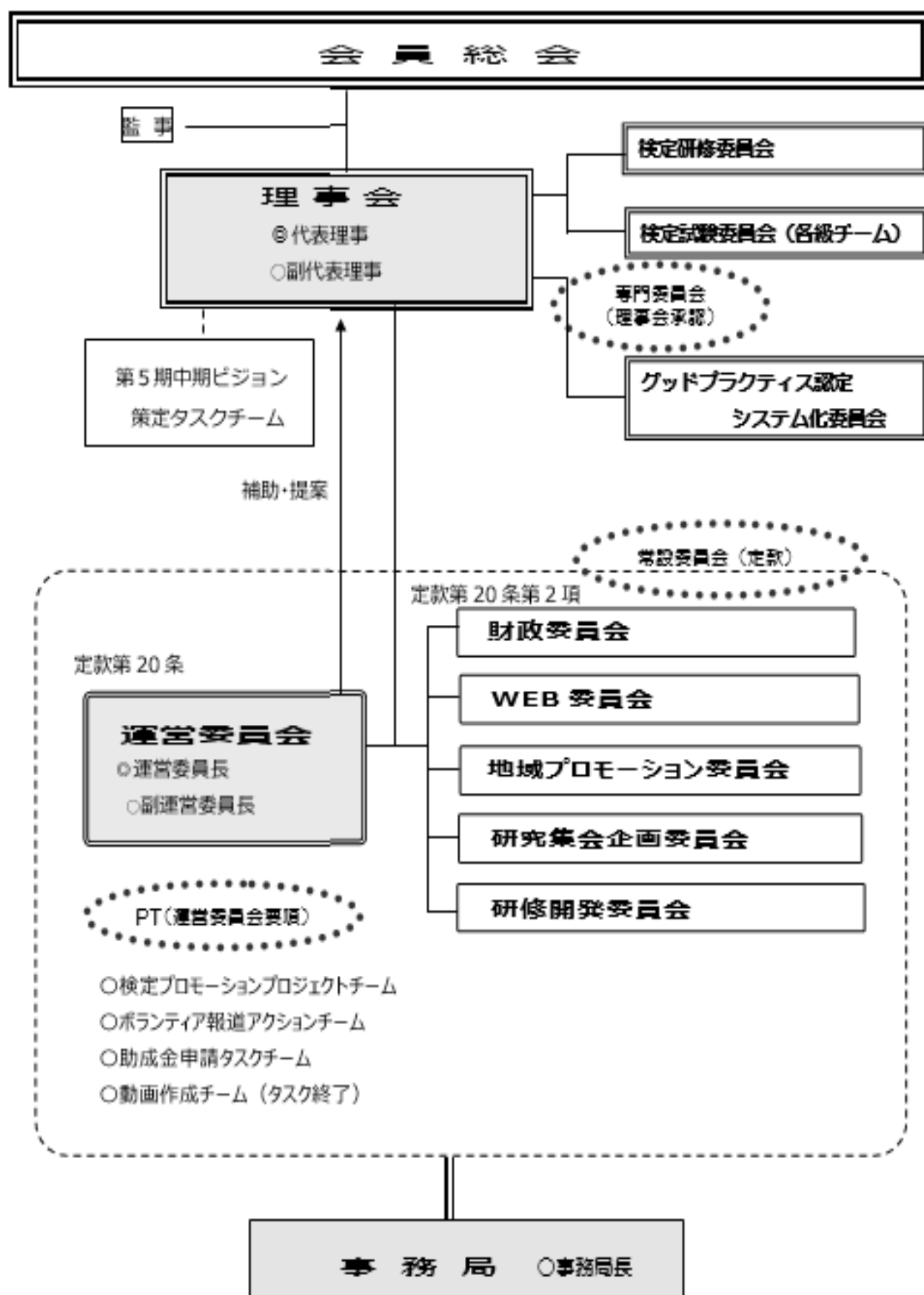
④助成金、委託事業などの活用

今後の事業展開に活用できる研究や活動に対する助成金等の情報を収集し、タスクチームを結成して事業内容を検討したうえで、丸紅基金へ申請したが不採択だった。

⑤「おサイフ通信」の発行

JVCAおサイフ通信 第18号(2024年12月10日刊)を発行し、今期の財政状況報告と年末寄付の呼びかけを会員メールリストで行った。

2024年度 日本ボランティアコーディネーター協会 組織図



◆・◆・ 寄 附 者 名 簿 ・◆・◆

※敬称略で失礼します

<コーディネーターみらい募金> <U-30 応援募金 (若いコーディネーターへの2級検定の
研修費補助)> にご協力いただいたみなさまに心より御礼を申し上げます

青山 織衣	菅野 道生	小山 晴義	土崎 雄祐	武藤 祐子
赤石 千秋	北出 真由美	酒井 玲子	筒井 のり子	村上 直美
足立 陽子	國實 紗登美	佐藤 匠	永井 美佳	山崎 智文
阿部 陽一郎	熊谷 紀良	澤田 麻理	長沢 恵美子	
太田 道子	熊澤 桂子	志田 英男	野尻 紀恵	
小柏 博英	倉本 泰孝	高橋 義博	林 果奈	
岡 秀和	栗原 穂子	武石 玲子	早瀬 昇	
鹿住 貴之	合原 佳登理	竹田 純子	松下 里美	
唐木 理恵子	小谷 広幸	竹脇 恵美	松田 直子	
川瀬 和一	後藤 麻理子	都賀 潔子	松本 まり子	

COCO サロン福祉施設・病院

(50人・団体 匿名希望6人を含む)

■2024年度 講師派遣事業

	期 日	曜日	対面	オラ	オデ	研修名	主催団体	派遣講師
1	1月16日	火	●			中間支援組織スタッフのための支援力アップ塾 企画・評価委員会	東京ボランティア・市民活動センター	唐木 理恵子
2	1月17日・2月1日	水・木	●			中間支援組織スタッフのための支援力アップ塾(ゼミ編)	東京ボランティア・市民活動センター	唐木 理恵子
3	1月19日	金		●		令和5年度ボランティア強化セミナー	北海道社会福祉協議会	青山 織衣
4	1月25日	木		●		エリア・デポコーディネーター養成講座	生活クラブ生活協同組合(千葉)	後藤 麻理子
5	1月26日	金	●			第2回市町村社会福祉協議会ボランティア担当者会議	京都府社会福祉協議会	石井 祐理子
6	1月28日	日	●			ボランティア研修会	江津市社会福祉協議会	青山 織衣
7	1月31日	水	●			令和5年度ボランティアコーディネーター研修	神奈川県社会福祉協議会	妻鹿 ふみ子
8	1月31日	水	●			NPO等分科会・福祉施設等分科会 合同研修会	横浜市緑区社会福祉協議会	後藤 麻理子
9	2月以降				●	令和5年度アクティブシニア養成支援事業(録画提供)	福井県社会福祉協議会	早瀬 昇
10	2月1日	木	●			学生ボランティア登録団体サポート研修	成蹊大学	鹿住 貴之
11	2月4日	日	●			ボランティア研修会	熊野市社会福祉協議会	佐藤 匠
12	2月7日	水	●			ボランティアコーディネーター研修	川崎市社会福祉協議会	小原 宗一
13	2月16日	金	●			地域日本語教室運営者・コーディネーター研修会	横浜市国際交流協会	妻鹿 ふみ子
14	2月17日	土	●			中野区つながり広場～町会と創る、まちの未来～	東京都つながり創生財団	疋田 恵子
15	2月29日	木	●	●		施設職員向けボランティア受入れ研修会	新潟市中央区社会福祉協議会	後藤 麻理子
16	2月29日	木	●			ボランティア研究協議会	群馬県ボランティア連絡協議会	岩井 俊宗
17	2月29日	木	●			ぐんまボランティアフォーラム	群馬県社会福祉協議会	岩井 俊宗
18	3月2日	土	●			ボランティアスタートアップ講座	厚木市社会福祉協議会	唐木 理恵子
19	3月2日	土	●			町会・自治会におけるボランティアの受け入れ方について	株式会社ダイナックス都市環境研究所	後藤 麻理子
20	3月5日	火		●		令和5年度社会福祉施設ボランティア担当者研修 【応用編】	福島県社会福祉協議会	後藤 麻理子
21	3月5日	火	●			令和5年度ボランティア講座(傾聴・買い物代行ボラ)	高崎市社会福祉協議会	小原 宗一
22	3月11日	月		●		ボランティアコーディネーター養成講座	鶴川地区社会福祉協議会	三田 響子
23	3月11日	月		●		住民支え合いコーディネータースキルアップ講座	群馬県社会福祉協議会	青山 織衣
24	3月13日	水		●		令和5年度NPO・市民活動ネットワーク研修	福島県社会福祉協議会	後藤 麻理子
25	3月19日	火	●			介護予防リーダー、認知症支援リーダー等 ボランティアフォロー講座	小平市	小原 宗一
26	3月21日	木	●			中間支援組織のための支援力アップ塾企画・評価委員会	東京ボランティア・市民活動センター	唐木 理恵子
27	3月22日	金	●			ボランティア養成講座	八千代市社会福祉協議会	後藤 麻理子
28	3月23日	土	●			地域の担い手講座	茅ヶ崎市社会福祉協議会	妻鹿 ふみ子
29	3月25日	月		●		令和5年度市町村社会福祉協議会ボランティア担当者会議	静岡県社会福祉協議会	後藤 麻理子
30	3月28日	木		●		上天草市生活支援・介護予防サポーター養成講座	上天草市 健康福祉部(熊本県)	青山 織衣
31	4月26日	木		●		市民とNPOの交流サロン	新宿NPO協働推進センター	後藤 麻理子
32	4月12日	金	●			区市町村ボランティア・市民活動センター新任研修	東京ボランティア・市民活動センター	唐木 理恵子 熊谷 紀良
33	4月28日	日	●			令和6年度埼玉県生協年相談員全体研修会	埼玉県 県民生活部青少年課	岩井 俊宗
34	5月11日	土	●			厚木市青少年健全育成会連絡協議会研修会	厚木市 青少年課(神奈川県)	西川 正
35	5月17日	金	●			ボランティアコーディネーター研修【基本コース】	神奈川県社会福祉協議会	妻鹿 ふみ子
36	5月18日	土	●			近隣ケア全体研修会	各務原市社会福祉協議会	青山 織衣

	期 日	曜日	対面	オラ	オデ	研修名	主催団体	派遣講師
37	5月21日	火	●			地域福祉・ボランティア担当者会議 ボランティア担当・コーディネーター研修	茨城県社会福祉協議会	土崎 雄祐
38	6月13日・ 7月4日・11日	木	●			地域福祉サポーター養成講座(ボランティア支援員編)	八潮市社会福祉協議会	後藤 麻理子
39	6月19日	水	●			おおぶ健康づくりボランティア養成講座	大府市 健康未来部(愛知県)	佐藤 匠
40	6月24日	月		●		ボランティアコーディネーター資質向上研修会	福井県社会福祉協議会	後藤 麻理子
41	6月27日・7月26日	木・金	●			ボランティア・市民活動ネットワーク会議	仙台市社会福祉協議会	後藤 麻理子
42	6月29日	土	●			マザリナ運営ボランティア研修	シャプラニール=市民による海外協力の会	後藤 麻理子
43	7月16日	火	●			共に生きる力を育む福祉教育推進事業事前研修会	福井県社会福祉協議会	西川 正
44	7月30日	火		●	●	上天草市生活支援・介護予防サポーター養成講座	上天草市 健康福祉部(熊本県)	青山 織衣 後藤 麻理子
45	7月30日	火	●			松本地域タウンミーティング2024	長野県長寿社会開発センター 安曇野市社会福祉協議会	早瀬 昇
46	8月8日	木	●			社会福祉施設ボランティア担当者研修	福島県社会福祉協議会	後藤 麻理子
47	8月23日	金	●			ボランティア入門講座	みよし市社会福祉協議会	佐藤 匠
48	9月1日・9月8日	日・日			●	ラジオ講座「いきいきライフ」	福井県社会福祉協議会	早瀬 昇
49	9月4日	水	●			ボランティアコーディネーター研修会	横浜市社会福祉協議会	唐木 理恵子
50	9月8日	日	●			ボランティア全国フォーラム2024	「広がれボランティアの輪」連絡会議	小原 宗一
51	10月3日	木	●			ボランティアコーディネーター養成研修	富山県社会福祉協議会	唐木 理恵子 土崎 雄祐
52	10月10日	木	●			令和6年度市町社協ボランティアコーディネーター研修	広島県社会福祉協議会	唐木 理恵子
53	10月18日	金	●			災害時にも生きる地域のネットワークづくり	坂東市社会福祉協議会	三田 響子
54	10月25日	金	●			ボランティア活動活発化事業	いわき市社会福祉協議会	小原 宗一
55	11月7日	木	●			2024年度支援力アップ塾 相談講座	東京ボランティア・市民活動センター	唐木 理恵子
56	11月7日・11月20日	木		●		職員人材育成プログラム	シャプラニール=市民による海外協力の会	後藤 麻理子
57	11月10日	日	●			市民向け市民参加推進講演会	千葉県環境生活部県民生活課	後藤 麻理子
58	11月21日	木	●			杉並区スポーツ推進委員全体研修	杉並区役所	疋田 恵子
59	11月21日・12月19日・1月16日	木	●			2024年度支援力アップ塾 実践ゼミ編	東京ボランティア・市民活動センター	唐木 理恵子
60	11月26日・1月28日・3月11日	火	●			令和6年度 ボランティアコーディネーター研修【スキルアップコース】	神奈川県社会福祉協議会	妻鹿 ふみ子
61	11月30日	土	●			佐久市社会福祉大会	佐久市社会福祉協議会	妻鹿 ふみ子
62	11月30日・12月7日	土	●			地域デビュー講座	鹿児島市社会福祉協議会	小原 宗一 疋田 恵子
63	12月3日	火	●			令和6年度市町社協職員向けボランティア・福祉教育担当者会議	滋賀県社会福祉協議会	筒井 のり子
64	12月4日	水	●			ボランティアコーディネーター研修	川崎市社会福祉協議会	唐木 理恵子
65	12月7日	土	●			2024年度NPO講座	認定特定NPO法人NPOサポートちがさき	後藤 麻理子
66	12月10日	火	●			ボランティアコーディネーター研修	宮城県社会福祉協議会	小原 宗一
67	12月10日	火	●			支援力アップ塾企画・評価委員会	東京ボランティア・市民活動センター	唐木 理恵子
68	12月13日	金	●	●		多文化共生マネージャー養成研修	自治体国際化協会	早瀬 昇
69	12月14日	土	●			ご近所福祉ネットワーク活動研修会	鯖江市社会福祉協議会	石井 祐理子
70	12月18日	水	●			令和6年度ボランティアマネジメント研修	公益財団法人藤沢まちづくり協会	後藤 麻理子
71	12月19日	木	●			ボランティアコーディネーター概論	江東区社会福祉協議会	小原 宗一
72	12月20日	金	●			令和6年度ボランティア研究集会	群馬県ボランティア連絡協議会	青山 織衣